

国語

早稲田大学 法学部 1/2

(二)					(一)						
問十二	問十一	問十	問九	問八	問七	問六	問五	問四	問三	問二	問一
ハ	ロ	雖 _二 万 _一	ロ	ハ	ニ	ホ	イ	ロ	ホ	a	ハ
		万 _二 不 _一								イ	
		及 _二								c	
		緹 _二								ロ	
		縈 _一									

(三)

- 問十三 A 侮辱 B 搾取
- 問十四 イ
- 問十五 ホ
- 問十六 ロ
- 問十七 ホ
- 問十八 ニ
- 問十九 ホ
- 問二十 ホ

(四)

- 問二十一 ニ
- 問二十二 ロ
- 問二十三 ロ
- 問二十四 イ
- 問二十五

死は生の欠如ではなく、多様な生の充実により経験される多様なものであるが、指定不可能な未知のものをもたらす気候変動の予兆としてのコロナ禍は、人の死に方を一様にする。そこで死をただ恐れたり、災禍と向き合うことを避けたりせず、その未知について思考し、多くの人が同じ原因で死ぬことを避ける道を模索し、各々の生を多様なものに開いていくことにつながる実践的思索を行うこと。(180字)